

報道関係各位

# News Release

2021年3月8日

## マーサーアジア、女子教育の支援組織を後押しする地域的な取り組み「P.A.G.E.150」をローンチ

### コロナ禍と学校閉鎖は女性の未来を経済的に脅かす

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大とそれに伴う教育の途絶によって、アジア太平洋地域で数百万人に及ぶ女子が中途退学のリスクにさらされている。国際連合児童基金（ユニセフ）は、東アジア・太平洋地域全体で4,000万人近い女子のうち20%がコロナ禍で遠隔授業を受けられていないと報告している<sup>1</sup>。南アジア・西アジアでは、小学校に入学前から高等教育のレベルにわたる280万人の女性・女子が学校に戻れない可能性がある。コロナ禍による女子教育への影響度<sup>2</sup>はまだ不明だが、女子の未来に経済的な悪影響を与えることは確実である。

中途退学の増加は、男女平等に向けた数十年の進歩を脅かすばかりでなく、女子を未成年での妊娠や早期の強制的な結婚、暴力のリスクにさらす。世界銀行の調査によれば、特に中等・高等教育のレベルで、わずか1年長く学校教育を受けると、女性の平均賃金は12%（男性の場合は10%）増加する。女子の就学率が男子より低いという長らく続いている格差は、過去数十年間で縮小してきたものの、コロナ禍による学校閉鎖と遠隔授業を受けられないことによって、この格差の縮小が鈍化または格差が拡大し、女子の将来の経済的見通しを悪化させる可能性がある。

マーサーアジアのCEOであるRenee McGowanは次のように述べている。

「調査によると、女子の教育期間が短縮されれば、その影響は数世代まで及びます。女子は、教育を通じてより多くの収入を得るとともに、自身と家庭のより良い未来を拓くでしょう。女子教育は、男子・男性を含む全ての人に各自の潜在能力を発揮する機会を与え、社会と経済を強固にします。コロナ禍を原因とする男女間の教育格差は、将来の労働力を担う女性が男性

---

<sup>1</sup> UNICEF Education COVID-19 Response Issue Brief: COVID-19 and Girls' Education in East Asia and Pacific, October 2020

<sup>2</sup> COVID-19 and Girls' Education: What We Know So Far and What We Expect, Centre for Global Development, October 2020

より少ないという形で顕在化させ、世界的・地域的に数十年にわたり存在してきた格差を拡大させるでしょう。これは深刻な懸念材料であり、当社はこの取り組みで一翼を担いたいと考えています」

### **アジアにおける女子教育の推進：P.A.G.E 150**

マーシュ&マクレナン（MMC）が今年、創業 150 周年を迎えるにあたって、マーサーは、今年の国際女性デー（3 月 8 日）に P.A.G.E 150 をアジアで立ち上げる。P.A.G.E は Powering Asian Girls' Education（アジアにおける女子教育の推進）の略であり、150 は MMC の 150 周年を表している。

この地域的取り組みでは、マーサーアジアにおける 11 市場（日本、韓国、中国本土、香港、インド、マレーシア、フィリピン、シンガポール、インドネシア、タイ、台湾）の各拠点が、向こう 12 カ月にわたり最低 150 時間を費やし、各市場で社会的・経済的に恵まれない境遇にある女子の教育へのアクセスと機会の向上に専念する社会的企業に専門的サービスを提供するボランティア活動を行う。

マーサージャパン 代表取締役社長 CEO 草鹿 泰士は、今後の取組みと活動に対し、以下のようにコメントしている。

「教育は人権であり、平等、開発および平和という目標の達成にとって不可欠な手段です。持続可能な開発目標（SDGs）では目標 5 にジェンダー平等を掲げており、女子教育も重要な課題の 1 つです。しかし、現下のコロナ禍により、少女たちの教育機会が失われる可能性が出てきました。これは、私たちが生きている社会、世界にとって決して看過できる問題ではありません。マーサージャパンは、キリマンジャロの会<sup>3</sup>やハナラボ<sup>4</sup>の活動に賛同し、ともに教育を通じて彼女たちがより輝かしい未来を築いていけるよう、支援していきたいと考えています」

マーサーは、アジアの各拠点における社員の専門知識と能力を活用し、スキルアップや職務再設計などの人材育成プロジェクト、投資助言、医療等給付プログラムの強化、マーケティングや経理などの機能的支援等を通じて、これらの社会的企業による課題への取り組みや将来に向けた組織再編を支援する。

McGowan は次のように付け加えた。

「多くの社会的企業や非営利団体も、コロナ禍によるボランティアや寄付の減少から深刻な打撃を受けており、業務に加え人員の確保、成長が危ぶまれるかもしれません。私たちが信じる最善の方法で、当社は彼らが健全かつ強固な組織としてまた立ち上がり、その先にはこれら社会的企業が教育を通じて今後さらに多くの女子を支援することに期待しています。コロナ禍によって男女間の格差が拡大するリスクへの対応が急務となりました。そうしたリスクを軽減するとともに、将来の労働力に変化をもたらすことに貢献したい、その一心でこの取り組みを推進していきます」

---

<sup>3</sup> [一般社団法人 キリマンジャロの会](#): NGO 団体 Sakura Vision Tanzania と共同でさくら女子中学校を運営する一般社団法人

<sup>4</sup> [NPO 法人ハナラボ](#): 社会課題の解決を通して、女子大生の創造力やリーダーシップを育む NPO 法人

マーサーでは、地域社会に変化をもたらす意味のある影響を与えたいという思いから、社員主導のボランティア・グローバルプログラム‘Mercer Cares’に取り組んでいます。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

###

## マーサーについて

[マーサー](#) はより輝かしい未来は築くことができるものと信じています。私たちはクライアントと共に、仕事そのものを再定義し必要な改革に導き、退職制度や年金の投資成果を再構築します。そして、真の健康とウェルビーイングへと導くビジョンを掲げています。全世界約 25,000 名のスタッフが 44 カ国をベースに、130 カ国以上でクライアント企業と共に多様な課題に取り組み、最適なソリューションを総合的に提供しています。マーシュ&マクレナン（NYSE：MMC）グループの一員として、日本においては 40 年以上の豊富な実績とグローバル・ネットワークを活かし、あらゆる業種の企業・公共団体に対するサービス支援を行っています。

## マーシュ&マクレナンについて

マーシュ&マクレナン（ニューヨーク証券取引所コード: MMC）は、グローバルプロフェッショナルサービスを提供する企業グループとして、顧客企業にリスク、戦略、人材分野の助言とソリューションを提供しています。[マーシュ](#)（保険仲介とリスクマネジメント）、[ガイ・カーペンター](#)（再保険仲介・コンサルティング）、[マーサー](#)（組織・人事マネジメント・コンサルティング）、そして[オリバー・ワイマン](#)（戦略コンサルティング）から構成されており、年間総収入 170 億米ドル超、全世界に 76,000 名の従業員を擁し、世界各地の顧客に分析・アドバイスを提供しています。

## お問い合わせ

マーサージャパン株式会社

広報: 天野

Tel: 070 7548 7209

Email: [pr.japan@mercer.com](mailto:pr.japan@mercer.com)